

ナバリスト 16

田中 一穂 さん | 名張市猟友会 会員

たなか・かずほ●エネルギー関係の職に従事しながら、2年程前から猟友会の会員として活動中。わな猟と第一種銃猟の狩猟免許を持ち、地域の依頼で赤目地域に設置した箱わなを管理するなど、精力的に有害鳥獣駆除に携わっている。



元々他のハンターがかけていたわなを引き継ぎ、地域のために管理している。



現在は銃猟がメイン。獲物をしっかり狙えるようになるため、経験を積んでいる。



技術や知識を猟友会の先輩たちに教わりながら活動中

「山や自然が好き」の延長でハンターに！

狩猟を始めたきっかけは、猟友会に所属している会社の先輩から誘いを受けたことでした。もともと自然と触れ合うことが好きだったこともあり、三重県猟友会が開催する初心者講習会に参加。狩猟免許を取得して、2年前の10月から狩りに参加し始めました。新人の私の弾はなかなか当たらず、初めて仕留めたのは狩りを始めて半年が経ったころ。やっと当たったと喜びつつ、もっと正確に狙えるよう精進したいという思いが湧きました。

猟友会の先輩たちは知識や技術を教えてくれますし、狩りに対してそれぞれ違う考えを持っているので活動していて楽しいですね。70代以上の人も多いので、力仕事を頼まれるなど頼りにされています。猟友会でも会員の高齢化が問題になっているので、若い人や森や自然に興味がある人はぜひハンターに！市の農林資源室に相談すれば講習会などの情報を教えてもらえますよ。せっかく免許を取ったなら狩猟を楽しんでほしいので、経験豊富な先輩がいる猟友会に入って、狩猟仲間を増やしてもらえればいいと思います。

「山や自然が好き」の延長でもある狩りが地域の人のためになるならと、有害鳥獣の共同捕獲にも積極的に参加しています。好きなことが地域の役に立つなら、これほど嬉しいことはないですね。まだまだ未熟な私ですが、先輩たちに教わりつつ、一人前になれるよう狩猟技術を身につけていきたいです。

編集後記

全国の広報担当者が集う大会に参加。古参の超ベテランから熱い思いを持つ大型新人まで、たくさんのお出迎えが！とても刺激を受けました（たか）

子どもたちがびしょ濡れになって作業した川に「なまがずがたくさん来ているよ」と連絡が。うようよ泳ぐ姿に早速の効果を実感（くま）

「猟友会＝駆除をする人じゃない」。私も勘違いしていました。皆さんの厚意で成り立っている獣害対策。地域みんなで協力を！（はる）

鮎の歴史の記事を書いているさなか、偶然鮎を食べる機会が！香りよく、身はふっくら。おいしくいただきました（はな）

市役所などの受付時間を短縮



令和7年8月1日～
9:00～16:30

対象施設 市役所、保健センター、まちの保健室、上下水道部庁舎（電話の受付時間は変更なし）ほか



詳細 P15

令和7年7月10日発行

広報なバリ

●人口 73,698人（前月比－44人） ●世帯数 35,045世帯（前月比＋29世帯）※6/1現在

発行／名張市 なばりの未来創造部 広報シティプロモーション推進室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1

☎0595-63-7402 FAX 0595-63-2560 ✉pr@city.nabari.lg.jp